98年の歴史に幕

花輪高等学校

花輪高校の卒業式が3月1日に行われ、卒業生128人が母校の誇りを胸に学び舎を巣立ちました。

式典では、佐藤貢(みつぐ)校長が「皆さんは歴史的な年に本校で学んだ仲間。常に向上心を持ち、日々努力を重ねていってください」と激励。卒業生を代表し根本竜之介(りゅうのすけ)さんは「最後の花高生という大きな責任を背負って生活してきた。これからの社会で明るい未来が創れるよう、人の役に立てる存在になります」と述べました。

卒業生は家族が見守る中胸を張って退場し、教室でのホームルームでは、一人一人前に出て、友人や家族、教師へ感謝の気持ちを伝えました。

花輪高校は、花輪町立花輪実科高等女学校として大正15年に開校。今年で創立98年で、これまで1万9262人の卒業生を送り出しました。

1

2

3

4

5

6

1_ホームルームで友人や家族に感謝や今後の目標を伝える　2_立て看板の前で記念撮影　3_野球部が先輩卒業生を胴上げ　4_卒業式を無事に終え、先生とハイタッチ　5_卒業証書と一緒に花のプレゼント　6_涙をこらえ堂々と前へ進む

7

伝統を引き継いで

十和田高等学校

十和田高校の卒業式は3月2日に行われ、卒業生38人が慣れ親しんだ思い出の学び舎に別れを告げました。十和田高校は、県立鹿角工業高校として昭和18年に開校し、今年で創立80周年。これまでに送り出した卒業生は1万4253人です。

式典では、在校生代表の佐藤結衣(ゆい)さんが「先輩たちが紡いできた伝統を新しい学校につなげることができるように努力していきたい」と誓うと、卒業生を代表し工藤瑠夏(るな)さんは「十和田高校の伝統が引き継がれた、温かい雰囲気のある学校になることを願っている」と後輩たちへエールを贈りました。続けて「80年の歴史を誇る十和田高校の最後の卒業生としての誇りを胸に、これからの人生を歩んでいく」と、力強く今後の決意を述べました。

8

9

10

11

12

7.9_りりしい表情で卒業式に臨む　8_友だちからのメッセージに聴き入る　10_家族への感謝の気持ちが溢れ、感極まる場面も　11_伝統をつないできた制服　12_何気ない会話に笑顔がはじける